

四時ダム湖面を核とした水辺空間を 活用した地域づくり

いわき-4

四時ダム周辺地区

いわき市

いわき建設事務所
計画期間: H16

地域づくりの方針

四時ダム湖面を核とし、周辺の優れた自然環境・地域資源を活かした散策路・多目的広場を整備することにより、様々な地域活動の場として、地区住民はもとより来訪者を呼び込み交流人口の拡大による地域活性化を図ります。

主な事業内容

ダム周辺の公園や広場、四時川は地域活動の場として安全に利用するために

転落防止柵

を整備しました。



事業概要図



地域の現状

当該地区はいわき市南部中山間に位置しており、常磐自動車道・勿来インターチェンジを基点に国道289号を軸とした“海の自然”と相対する“山の自然”をイメージとする地区となっています。
四時ダム建設及び常磐自動車道開通に伴い国道289号が整備されたことにより、スムーズなアクセスが可能となったため、市内はもとより近県や首都圏からの来訪者も多く、近年は付近にペンションやレストラン等も増えてきています。

地域づくりのあゆみ

- 平成16年 ・四時ダムの堤体天端に転落防止柵設置。
- 平成17年 ・地域づくり団体主催により四時ダム天端でフリーマーケットを開催。
- 平成18年 ・地域づくり団体が四時ダム構内花壇の花植を実施。 ・四時ダム祭りが開催される。
・地域づくり団体が視点場から289号までの間の草刈りを実施し、案内看板を設置する。
- 平成19年 ・地域づくり団体が四時ダム構内花壇の花植を実施。 ・四時ダム祭り、四時川祭りを開催。
・地域づくり団体が四時ダム構内でフリーマーケットを開催。
- 平成20年 ・「地域づくり団体が四時ダム構内でフリーマーケットを開催。
・四時川祭りが開催される。

実施した感想

(県担当者)

■地域の方々が地域づくりに一生懸命であることに感心します。また、行政としての地域づくりの関わり方に考えさせられる日々です。

(ふる里しときを考える会 会長 緑川恵男さん)

■ダムなどの土木構造物は、治水、利水の目的だけでなく、人が集まる拠点となりえる機能を持っています。我々もそれについて求めてこなかったことも事実ですが、これらの機能を活かすよう整備してこなかったことが残念です。

■地域づくりで何かをやるようとして行政に相談すると、ダメとの回答が来ますが、ダメの回答だけでなく、どうすればそれができるようになるか、知恵をもらいたいです。



事業の効果

■地域イベントによる交流人口の拡大

- ・フリーマーケットの開催
ダムサイトを一般に開放できるようになり、そこを利用して地域住民等がフリーマーケットを行う等地域づくりの活動の場が広がりました。

■地域イベントによる交流人口の拡大

- ・四時ダム祭りの来訪者数
H18：約4,600人
H19：約5,100人
H20：約3,500人（雨の影響による）



地域の課題・今後の展望

(ふる里しときを考える会 会長 緑川恵男さん)

【課題】

- ・地域づくり活動の後継者や人材確保。
- ・若い人との接点がない。

【展望】

- ・まず四時川の利活用のビジョンを作り、次に、それに向かって進めていきます。

元気づくりの立役者たち



整備内容及び利用状況

転落防止柵設置



施工前



施工後

利用状況

防護柵を設置したことによりダムサイトから太平洋を見る人の安全を図れるようになりました。



管理状況

地域づくり団体による除草作業を実施しています。

関係機関

■ 福島県 鮫川水系ダム管理事務所

TEL : 0246-63-2155